キャラクター名
ジゼル・ベルクール

プレイヤー名

メインクラス	メイジ	**Lv.1:**		**レベル**	1
サポートクラス	ニンジャ	**Lv.1:**	ニンジャ	**性別**	女
称号クラス				**年齢**	68
種族	ヒューリン			**境遇**	渡来
出自（効果）	狩人			**目標**	運命

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	9	9	8	9	12	8	6
ボーナス	3	3	2	3	4	2	2
クラス修正	0	1	1	2	1	1	0
他修正							
能力値	3	4	3	5	5	3	2

HP	29
MP	34
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	スタッフ	至近	-1	2	0	1	0	0	0
左手									
頭部	ハット					1			
胴部	ローブ					2			
補助									
装身具	グリモア								
能力値			4	0	3	0	3	8	8
スキル	ニンブル							3	
その他									
総計(右)			3	2	3	4	3	11	8 m
総計(左)									
総計(両)									
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 2 d
トラップ解除	4			4	+ 2 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	5			5	+ 2 d
アイテム鑑定	5			5	+ 2 d
魔術判定	5			5	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	4			4	+ d

所持品	
バックパック	
冒険者セット	
MPポーション*2	
野菜*2	

現在重量： 9		
最大重量： 14	所持金： 0	預金・借金：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハーフブラッド	★	-	パッシブ	-	-	-	-	
効果： タイミングがメイキングのヒューリン以外の種族スキル一つを修得。ただし幸運基本値-3								
コンセントレイション	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 魔術判定に+1D								
マジシャンズマイト	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 魔法攻撃のダメージに+SLdする。								
ウォータースピア	★	6	メジャー	20m	単体	魔術	-	
効果 :対象に魔法攻撃を行なう。その攻撃のダメージは[2D+5](《水》属性の魔法ダメージ)となる。また、その攻撃で対象に1点でもHPダメージを与えた場合、[放心]を与える。クリティカル：ダイスロール増加								
	1							
効果：								
ハンドシンボル：爆	1	4	ムーブ	-	自身	自動	シーンSL回	
効果： 魔法攻撃の「対象：単体」を「対象：範囲(選択)」に変更する。この効果はメインプロセス終了まで持続する。								
ポイゾネミスト	1	4	マイナー	-	自身	自動	-	
効果 :ダメージ増加を行なう。〈水〉属性の魔法ダメージを与える攻撃のダメージに+[SL×2]する。その攻撃の対象に1点でもHPダメージを与えた場合、[毒(1)]を与える。この効果はメインプロセス終了まで持続する。								
	1							
効果：								
ニンブル	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 行動値に+3する。								
トラッキング	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 残された足跡、痕跡などを元に追跡するための【感知】判定に+1Dする。								
モンスターロア	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： エネミー識別の判定に+1Dする。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

ジゼル・ベルクール。ライン郊外の村邑で、グリモアの写本を書いていたハーフフィルボルの老婆。性格は冷静。だが、ある妖魔を倒すという目的の為に静かに燃え始めた魔術士。

一人称：あたし
二人称：お前
口調：そうさね

【出自：狩人】
元々はキルディアの狩人の家の生まれ。ジゼルには弓の才がなく、もっぱら天翼族の呪術士達に師事していた。そして毒と衰弱の呪いを修め、キルディアの魔術協会に勤めるようになる。

10代後半で牙爪族の戦士と結婚し、3児を授かる。だが、若きジゼルの幸せは長くは続かなかった。夫が妖魔化し、子供達を殺してしまったのだ。止められたはずだった。だが目の前のオウガに、愛する男の面影を感じたジゼルは何もできなかった。

【境遇：渡来】
事件から10年以上が経った頃。魔術協会の仕事で訪れた小さな辺境の村で、見知らぬ少女がしきりに毒の魔術の教えを乞うてきた。碌な金は持っていないようだったが、その必死の形相にジゼルが折れ、魔術を教えることとなる。だが、その後村の井戸水を飲んだ者達が毒により次々と死亡した。それはジゼルが教えた魔術だった。……流れ者の少女は、村の者達から虐待を受けていたらしい。その日の夜、復讐に狂った幼い魔女は焼き殺された。

ジゼルは恐怖した。私のせいなのか？喉の奥に染み付いた焼死体の臭いに吐き気を覚えながら、震える足取りでその場を後にする。今なら、妖魔になった彼の気持ちも分かる。そしてもう二度と、故郷には戻らなかった。